

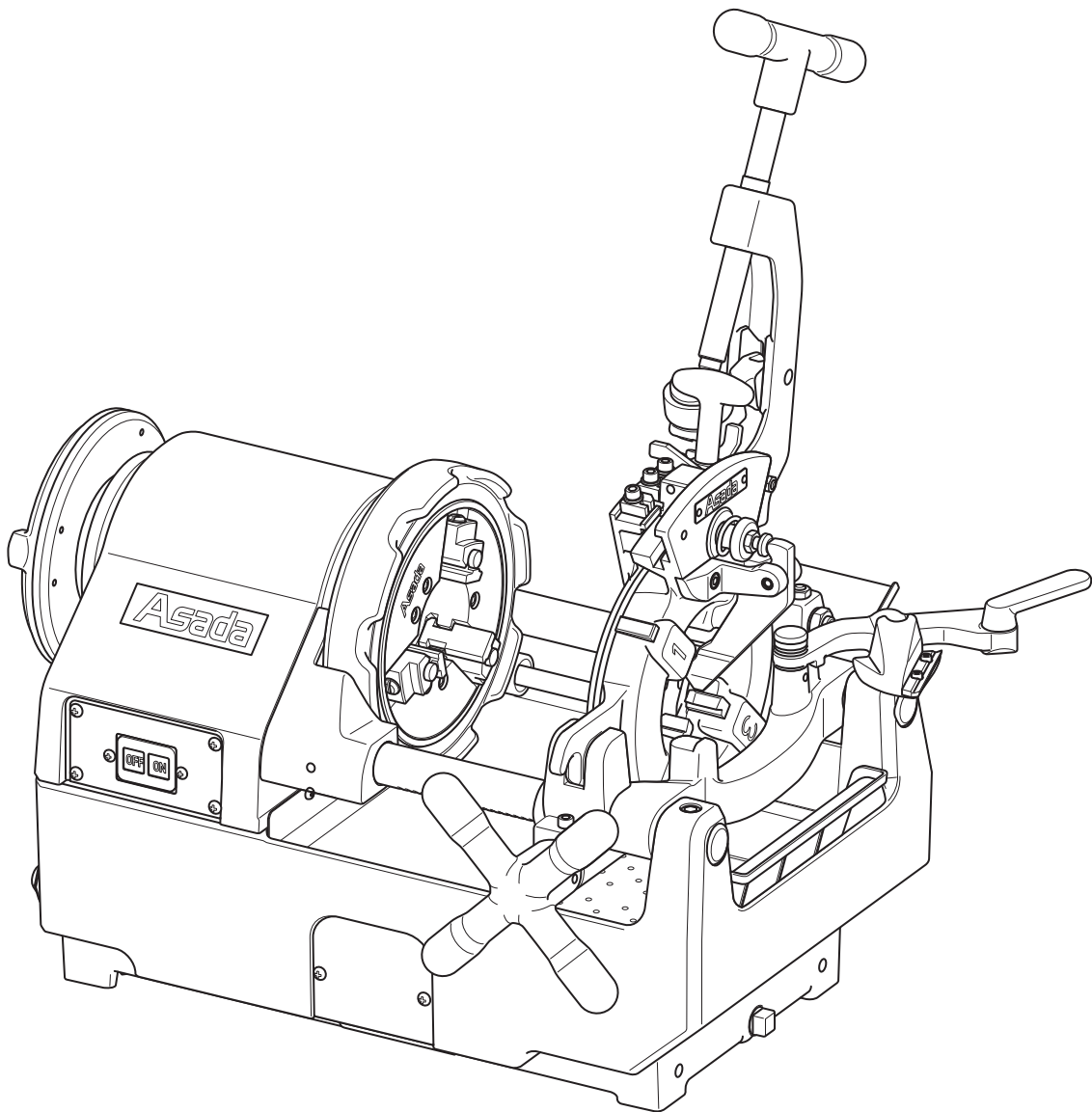
# Asada

環境を守る親切ツール

ねじ切機

# ビーバー 50G

## 取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

# ビーパー 50G

## 安全にご使用いただくために

このたびは、ビーパー 50G をお買い上げいただきましてありがとうございます。




- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取り扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。  
本機は鋼管やステンレス管等にねじを切削するための機械です。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。

- ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
- ・ 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
- ・ 標準付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。  
(本書記載内容は改良のため、予告なしに変更することがあります)

## 警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の3つのレベルに分類されます。

 <b>危険</b>	本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。
 <b>警告</b>	本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。
 <b>注意</b>	本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

## 目次

安全上のご注意 .....	2	チェーザの選定 .....	16
製品の構成 .....	7	チェーザをダイヘッドから取り外す、 ダイヘッドに取り付ける .....	17
各部の名称 .....	7	チェーザをダイヘッドごと交換する .....	19
仕様 .....	8	ねじサイズの変更 .....	19
標準付属品 .....	8	ねじ切削 .....	20
別販売品 .....	8	ねじ長さの調整 .....	20
準備 .....	9	ねじ深さの調整 .....	21
運搬 .....	9	材料の取り外し .....	21
据え付け .....	10	使用後の清掃 .....	21
使用方法 .....	11	車などへの積み込み .....	22
ねじ切りオイルの確認 .....	11	保守・点検 .....	23
パイプを本機に取り付け .....	11	修理・サービスを依頼される前に .....	29
パイプの切断 .....	13		
面取り .....	15		

## 安全上のご注意

- 火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、必要なときにすぐに取り出して読めるよう大切に保管してください。

### ⚠ 危険

- ◆ **必ずアースをしてください。**  
アースをしないと感電し、死亡することがあります。
- ◆ **濡れた手で電源プラグを電源コンセントに差し込まないでください。**
- ◆ **雨中等、本機内部に水の入りやすい場所では、使用しないでください。**
- ◆ **電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。**
- ◆ **電源コードを持って電源コンセントから引き抜いたり、電源コードの上に本機を置いたりして電源コードを損傷させないでください。**
- ◆ **延長コードはアース線を備えた3芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫なものをご使用ください。**  
延長コードは太さ2mm<sup>2</sup>以上のできるだけ短いものをご使用ください。
- ◆ **ねじ切りオイル赤を燃焼させないでください。**  
有害なガスが発生します。万一、吸引した場合は、新鮮な空気のある場所へ移動し、早急に医師の診断を受けてください。
- ◆ **水道管の加工には必ず、ねじ切りオイル白をご使用ください。**
- ◆ **材料、ハンマチャック、スクロールは作業中に回転します。**  
袖などが巻き込まれないように注意してください。
- ◆ **アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。**

### ⚠ 警告

- ◆ **電源電圧は100Vで使用してください。**  
正しい電圧で使用しないと発熱、発煙、発火の原因となります。
- ◆ **摩耗したチェーザや劣化したねじ切りオイル等を使用し、過負荷でモータが停止するような無理な使い方はしないでください。**
- ◆ **ねじ切りオイルは火気に近づけないでください。消防法では、危険物等級Ⅲに該当します。**
- ◆ **本機が発熱や発煙した場合は、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。**
- ◆ **ガソリン、シンナーなどの可燃性の液体やガスの近くでは使用しないでください。**  
引火、爆発の恐れがあります。
- ◆ **チェーザ、リーマ、パイプカッタ、丸のこの刃を交換するときは、必ず手袋をしてください。**  
刃物で手を切る恐れがあります。
- ◆ **丸のこは、スイッチをOFFにしても惰性で刃が回転します。動いている刃物や回転部に触れないでください。**

# ビーバー 50G

## ⚠ 警告

- ◆ 切断面や切粉は鋭利になっています。直接手で触れないでください。
- ◆ 刃物や回転部に触れる場合は、本機のスイッチを OFF にし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込むときは、スイッチが OFF になっていることを確認してください。  
スイッチが ON の状態で電源プラグを電源コンセントに差し込むと、本機が急に動き事故の原因となります。
- ◆ 使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。  
回転部や切粉に巻き込まれ、ケガをします。
- ◆ 切断、面取り、ねじ切り等の作業時は手袋を使用しないでください。  
巻き込まれてケガをします。
- ◆ ネクタイ、ネックレスや袖口の開いた服を着用しないでください。  
パイプ、丸棒、ハンマーチャック、スクロールは作業中に回転します。巻き込まれてケガをします。
- ◆ 長い髪は帽子やヘアカバーなどで覆ってください。  
回転部に巻き込まれてケガをします。
- ◆ 本機を使用しない場合や停電、保守、点検の場合はスイッチを OFF にし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 回転させたまま放置しないでください。  
他の人が巻き込まれてケガをします。
- ◆ 長いパイプを加工する場合はパイプ受台を使用してください。  
パイプがゆがみ回転中に振れたり、パイプの重みで本機が浮き上がり危険です。
- ◆ 加工中は保護メガネを使用ください。  
ねじ切りオイルや切粉が目に入り、ケガをします。
- ◆ 切粉をエアーで吹き飛ばさないでください。  
目に入り、失明することがあります。
- ◆ 粉じんの多い加工では、防じんマスクを使用してください。  
粉じんが口や鼻に入る恐れがあります。
- ◆ ねじ切り直後のチェーザ、切粉やねじ面は高温になっています。直接手で触れないでください。
- ◆ 運搬中にサドルが動かないように固定し、本機の底に手をかけて持ち上げてください。  
スクロールやリーマを持って運ばないようにしてください。
- ◆ 重量物ですので、特に持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。
- ◆ ねじ切りオイルで汚れた本機やパイプは滑りやすいので、持ち上げるときに足の上へ落とさないでください。
- ◆ 傾斜していたり、不安定な場所には設置しないでください。  
本機が転倒しケガをします。

## 警告

- ◆ 本機は平坦なところに置いてください。ダイヘッド側が高くなるようなところに本機を置かないでください。  
ねじ切りオイルがパイプ内側を伝い、漏れて床を汚します。
- ◆ 転倒してケガをしますので無理な姿勢で作業をせず、足元をしっかりとってください。
- ◆ 疲労、飲酒、薬物等の影響で作業に集中できないときは使用しないでください。
- ◆ スイッチを ON にする前に、点検や調整に使った工具を本機から取り除いてください。
- ◆ 指定の標準付属品や別販売品以外は使用しないでください。
- ◆ ダイヘッドは、ねじ切りオイルで濡れて滑りやすいので、交換のときは足の上に落とさないでください。
- ◆ パイプにねじ切りした後は、ねじ切り面やその内側に付いたねじ切りオイルを必ず洗浄してから配管してください。  
ねじ切りオイルの混入した水道水を飲むと下痢や嘔吐する恐れがあります。
- ◆ ねじ切りしたパイプは、配管後必ず耐圧テストを実施してください。  
ガスや水漏れの恐れがあります。
- ◆ 運転中本機の異常（異臭、振動や異常音等）に気付いたときはただちに停止し、本書の「修理・サービスを依頼される前に」を参照してください。
- ◆ 修理はお買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。
- ◆ 本機は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。



# ビーパー 50G

## ⚠ 注意

- ◆ **ダイヘッドを下へ降ろすときに手をはさまないように、手の位置に注意してください。**
- ◆ **長尺のパイプをセットしたまま本機から離れないでください。**  
パイプでつまずき、ケガをします。
- ◆ **本書にしたがって、標準付属品を確実に取り付けてください。**  
取り付けが不十分だと外れたり落ちたりし、ケガや事故の原因になります。
- ◆ **使用する前に保護カバーや本機に損傷がないか点検し、正常に作動するか確認してください。**
- ◆ **ねじ切りオイルが入っているときに持ち運ぶと、振動でオイルが飛び散り衣服を汚すことがあります。**
- ◆ **本機やダイヘッドを落としたり、ぶつけた場合は、破損、亀裂、変形等がないか点検してご使用ください。**  
異常があるまま、ねじ切りをしても精度がでない他、ケガや事故の原因になります。
- ◆ **長時間本機から離れるときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**
- ◆ **ねじ切りオイルは、アサダ純正ねじ切りオイルをご使用ください。**  
ねじ切りオイル白を使用した場合は水で洗い流し、赤の場合はウエスで拭き取ってください。  
このとき、ねじ山や切断面で手を切らないように注意してください。
- ◆ **ねじ切りはハンマチャックから 70mm 以上離れたところから始めてください。**  
70mm より内側でねじ切りを始めますと、ねじ切りが終わる前にサドルが本体に当たり、ダイヘッドの送りが停止します。
- ◆ **正しいねじが切れませんので、次の項目を守ってください。**
  - ・ねじサイズに合ったダイヘッドとチェーザをご使用ください。
  - ・チェーザに欠けや摩耗がないことを確認してご使用ください。
  - ・チェーザの取付番号とダイヘッドの取付番号を合わせて取り付けてください。
  - ・ダイヘッドを正しくサドルに取り付けてください。
  - ・ダイヘッドを土や砂の上に置いたり、乱暴に扱ったりしないでください。
  - ・ねじ切りオイルの量やねじ切りオイルの劣化を確認し、必要な場合は交換・補充してください。
  - ・ねじ切りオイルがチェーザにかかるか確認してください。
  - ・パイプの変形や切断面が傾斜していないことを確認してください。
- ◆ **作業台や作業場は整理整頓し、いつもきれいにし十分な明るさを保ってください。**
- ◆ **本機に担当者以外を近づけたり、操作させたりしないよう管理してください。**
- ◆ **本機を使用しないときの保管は、乾燥した場所で子供の手が届かない、または鍵のかかる場所にしてください。**

## ⚠ 注意

### ◆ ねじ切りオイルについて

- ・皮膚に触れると炎症を起こす恐れがあります。  
保護手袋をつけて取り扱い、もし手に付いた場合は、水と石鹼で完全に洗い流してください。
- ・下痢、嘔吐するので、飲まないでください。  
もし飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、ただちに医師の診断を受けてください。
- ・子供の手の届くところへ置かないでください。
- ・うすめたり、他のねじ切りオイルと混合使用しないでください。
- ・ねじ切りオイルに水が混入し乳白色になったり、極端に劣化しねじの仕上がり面が悪くなった時は、早めに新しいオイルと交換してください。
- ・直射日光を避け暗所に保管し、使用後は密栓し、ごみや水分などが入らないようにしてください。
- ・オイルミストや蒸気を吸わないでください。  
気分が悪くなります。  
もし吸った場合は、新鮮な空気のある場所に移動し身体を毛布で覆い保温し、安静にして医師の診断を受けてください。
- ・廃油、廃容器は産業廃棄物として処理し、廃容器に加熱、穴あけや切断等をしないでください。  
爆発や発火する恐れがあります。

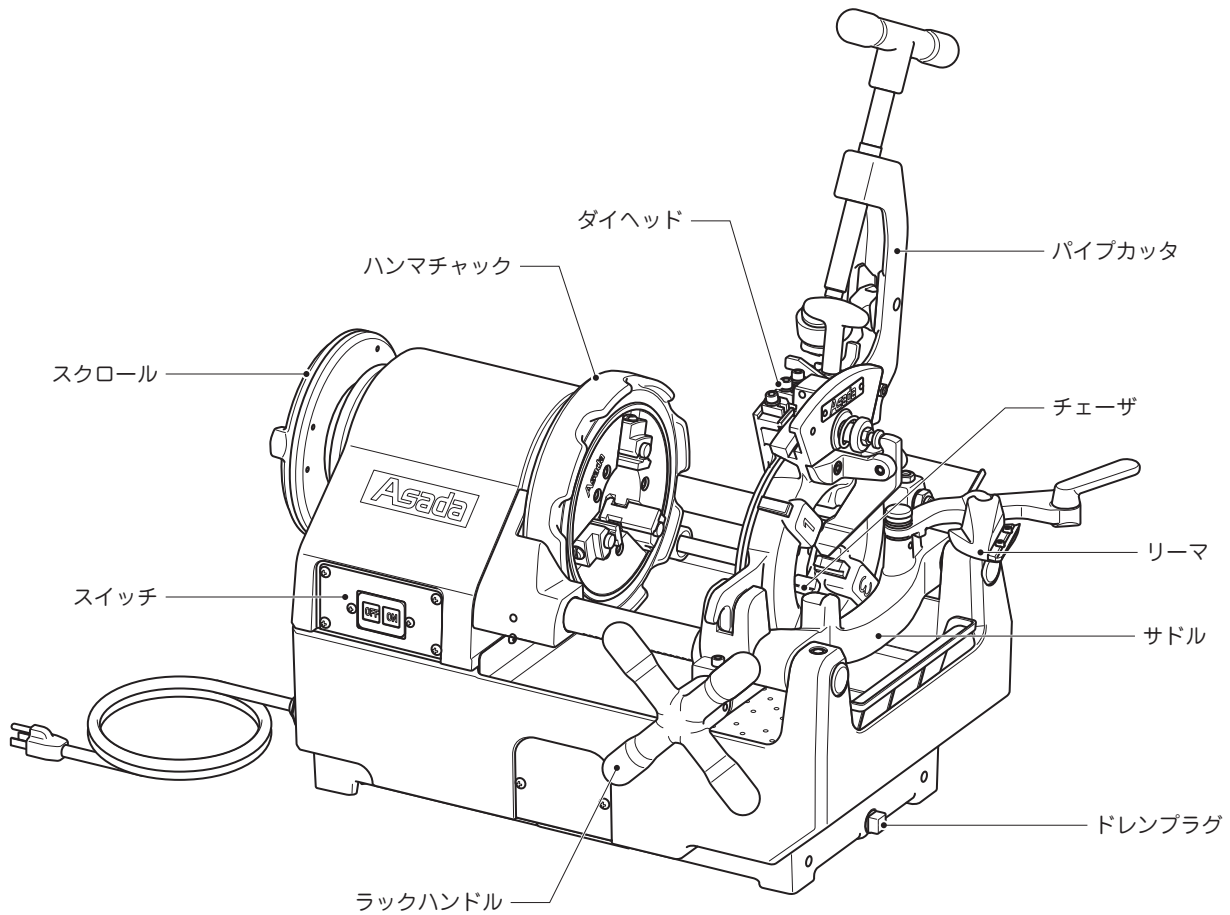
### ◆ ねじ切りオイルの廃油、廃容器の処置について

ねじ切りオイルは危険物 第4類 第三石油類 危険等級Ⅲに該当します。  
法令や各都道府県の条例等に従って処理をしてください。

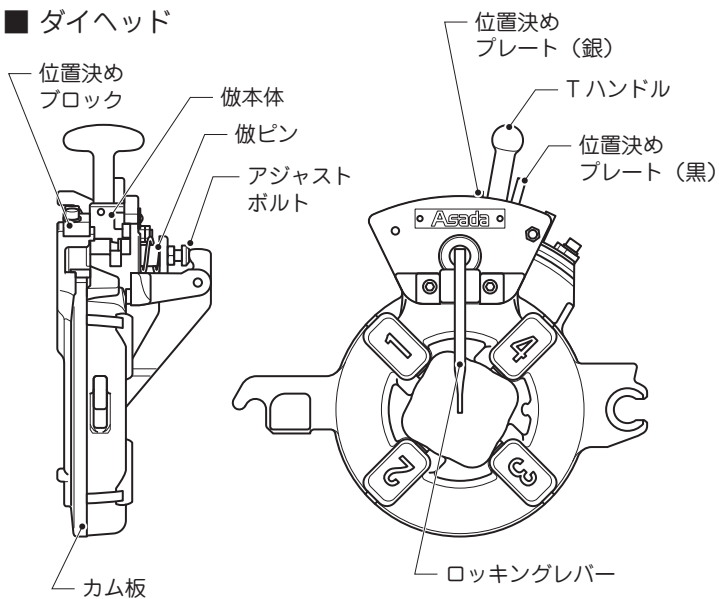
# ビーバー 50G

## 製品の構成

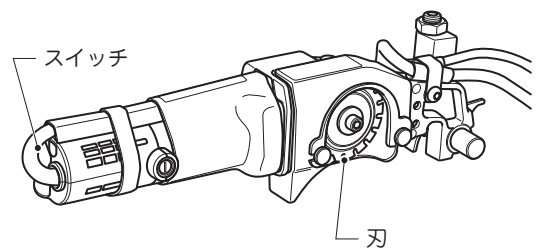
### 各部の名称



#### ■ ダイヘッド



#### ■ 丸のこ





# BEAVER 50G

## 仕 様

品 名	ビーバー50G				
仕 様	手動仕様	AT	AT II	丸のこ仕様	SUS管仕様
コードNo.	BG50PT	BG50AT	BG50AA	BG50AM	BG52AA
ねじ切り能力	PT 1/4" ~2" (8A~50A)、B3/8" ~2"				
回転速度	38min <sup>-1</sup> (無負荷)				
モータ	単相シリースモータ 100V 750W				
周波数	50/60Hz				
本体質量	46kg		(丸のこ仕様: 46kg)		
大きさ	L: 570mm×W: 435mm×H: 360mm (丸のこ仕様: 570mm×520mm×360mm)				

※仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## 標準付属品

仕 様	手動仕様	AT	AT II	丸のこ仕様	SUS管仕様
ダイヘッド	手動ダイヘッド PT1/2" ~2" (No.63090)	自動ダイヘッド PT1/2" ~2" (No.52100)	自動ダイヘッドPT1/2" ~3/4" (No.52143) PT1" ~2" (No.52144)		
チェーザ	AT1/2" ~3/4" (No.89211)、AT1~2" (No.89227)				AT1/2" ~3/4" (No.89203) AT1" ~2" (No.89248)
切断工具	パイプカッタ			丸のこ	パイプカッタ
その他	ねじ切りオイル白4L (No.85629)、六角棒スパナ5 (No.86003) 工具袋 (No.86090)、取扱説明書 (No.IM0507)				

## 別販売品

コードNo.	品 名	コードNo.	品 名
89203	チェーザAT1/2"-3/4" SUS管用	56100	パイプねじゲージ1/2" -1" セット
89248	チェーザAT1"-2" SUS管用	56127	パイプねじゲージ1/2" -2" セット
70076	パイプカッタ替刃 SUS管用	88901	パイプ受台ビーバー50用
36100	ニップルマックス1/2" ※短ニップル加工用	S781305	パイプジャックHボール
36110	ニップルマックス3/4" ※短ニップル加工用	MNB53	丸のこビーバー50用
36120	ニップルマックス1" ※短ニップル加工用	MN080	丸のこ替刃 鋼管用
36130	ニップルマックス1.1/4" ※短ニップル加工用	85630	ねじ切りオイル白16L
36140	ニップルマックス1.1/2" ※短ニップル加工用	85628	ねじ切りオイル赤4L
36150	ニップルマックス2" ※短ニップル加工用	85633	ねじ切りオイル赤16L
		01810	ニップル治具PT1/2"-2" セット
		BG579	ビーバー50G脚組

# ビーバー 50G

## 準備

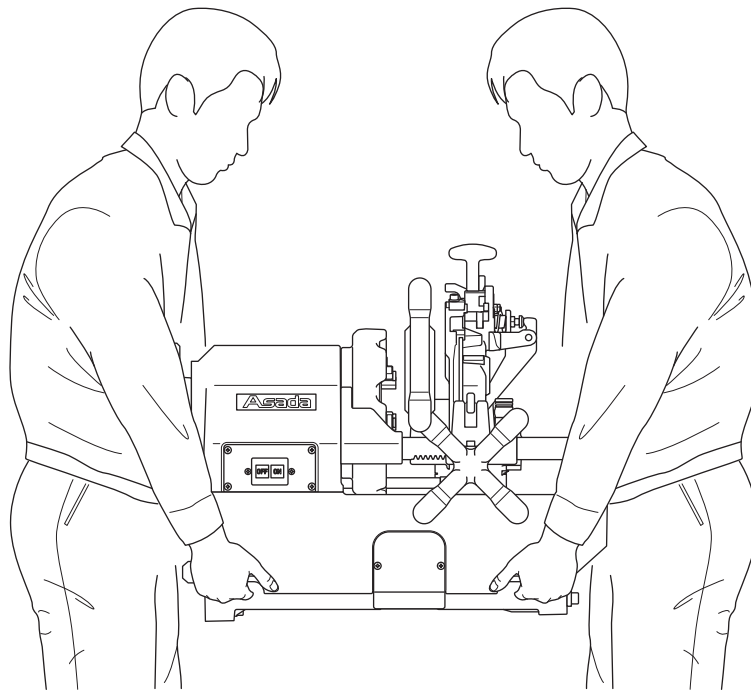
### 運搬

#### ⚠ 警告

- ◆ 運搬中にサドルが動かないように固定し、本機の底に手をかけて持ち上げてください。スクロールやリーマを持って運ばないようにしてください。
- ◆ 重量物ですので、特に持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。
- ◆ ねじ切りオイルで汚れた本機は滑りやすいので、持ち上げるとき足の上に落とさないでください。

#### ⚠ 注意

- ◆ ねじ切りオイルが入っているときに持ち運ぶと、振動でオイルが飛び散り衣服を汚すことがあります。



## 据え付け

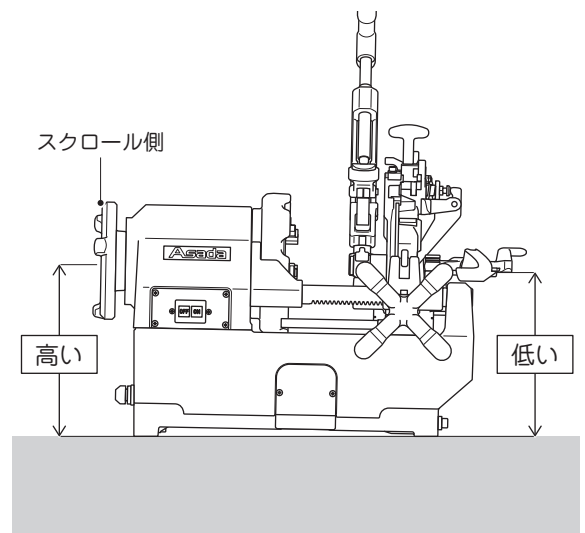
### ⚠ 危険

- ◆ **必ずアースをしてください。**  
アースをしないと感電し、死亡することがあります。
- ◆ **雨中等、水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。**
- ◆ **延長コードはアース線を備えた3芯キャプタイヤコードを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫なものをご使用ください。**  
延長コードは太さ2mm<sup>2</sup>以上のできるだけ短いものをご使用ください。
- ◆ **アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。**

### ⚠ 警告

- ◆ **本機は平坦なところに置いてください。ダイヘッド側が高くなるようなところに本機を置かないでください。**  
ねじ切りオイルがパイプ内側を伝って、漏れて床を汚します。

- ① 湿気のないところに置いてください。
- ② 平坦でガタ付きのないところ、  
または平坦な作業台の上に置いてください。  
この状態では、スクロール側が高くなります。
- ③ 本機周りには十分なスペースを確保してください。  
特に長いパイプを加工する場合には注意してください。
- ④ 長いパイプを加工する場合にはパイプ受台を使用し、  
本機が浮き上がる等の無理な力が掛からないように  
してください。
- ⑤ 電源には感電防止用漏電しゃ断器が  
設置されていることを確認してください。
- ⑥ 延長コードを使用する場合は、  
規格に適合したものをご使用ください。



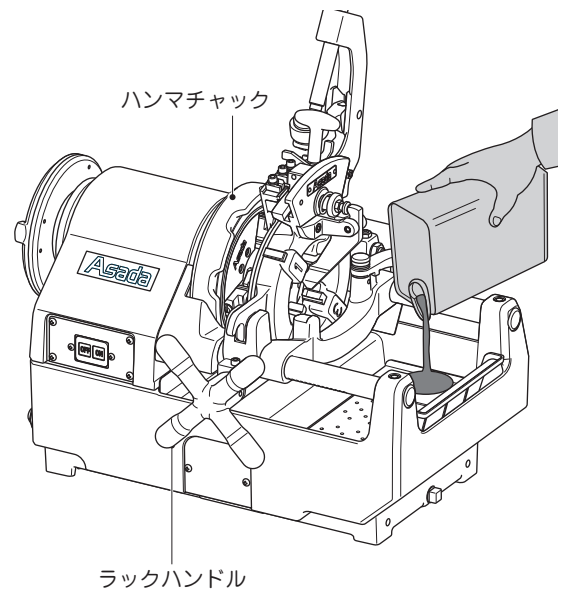
# ビーバー 50G

## 使用方法

### ねじ切りオイルの確認

新品の機械は防錆油が塗ってありますので、きれいな布で拭き取ってください。

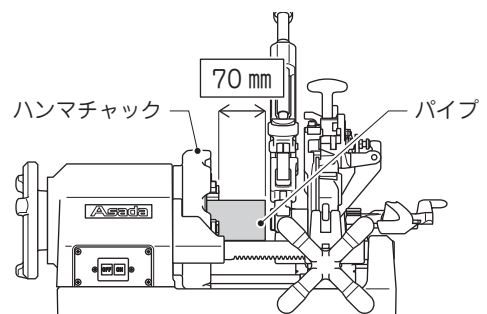
- ① ラックハンドルを時計方向に回し、サドルをハンマチャック側に移動します。
- ② 標準付属品のねじ切りオイル白を本機右側から、ストレーナの金網が浸かるまで入れます。ねじ切りオイルは粘性がありますので、少し時間をおいてから確認をしてください。
- ③ 本機のスイッチが OFF になっていることを確認し、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。2 芯の電源コンセントでは、必ずアースをしてください。
- ④ 本機のスイッチを ON にし、ダイヘッドからねじ切りオイルが出るか確認してください。吐き出るオイルが適量でない場合は、油量調整ねじで調整してください。吐き出るオイルの量は、『保守・点検 ねじ切りオイルの吐出量調整』を参照してください。



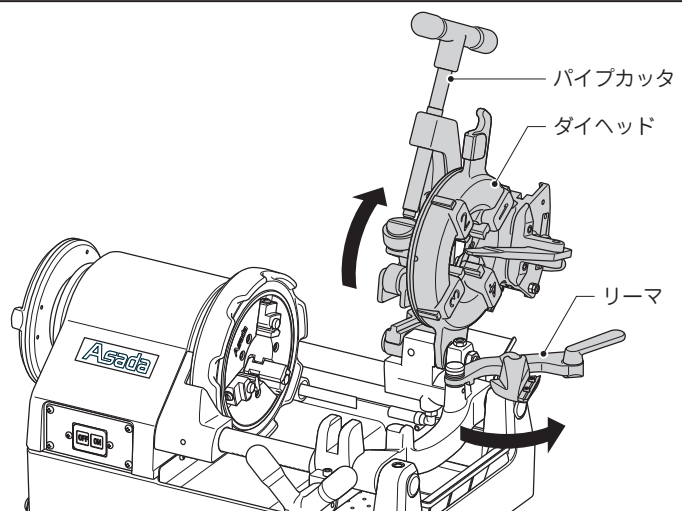
### パイプを本機に取り付け

#### ⚠ 注意

- ◆ ハンマチャックから 70mm 以内でのねじ切りはやめてください。ねじ切り完了前にサドルがフレームに当たり機械が破損する場合があります。

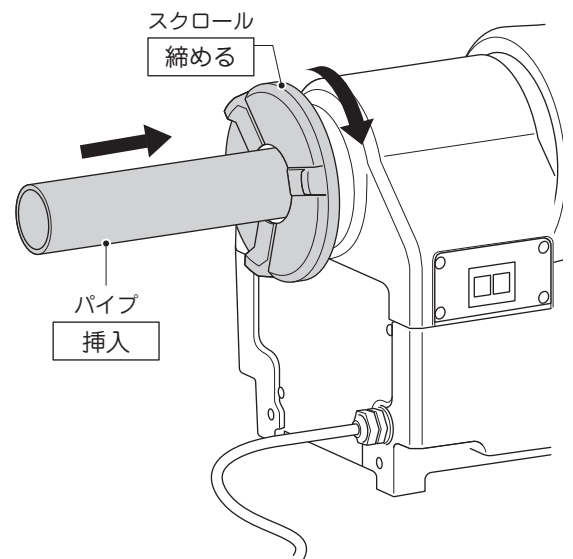


- ① パイプカッタとダイヘッドを上を起こし、リーマを開いてください。

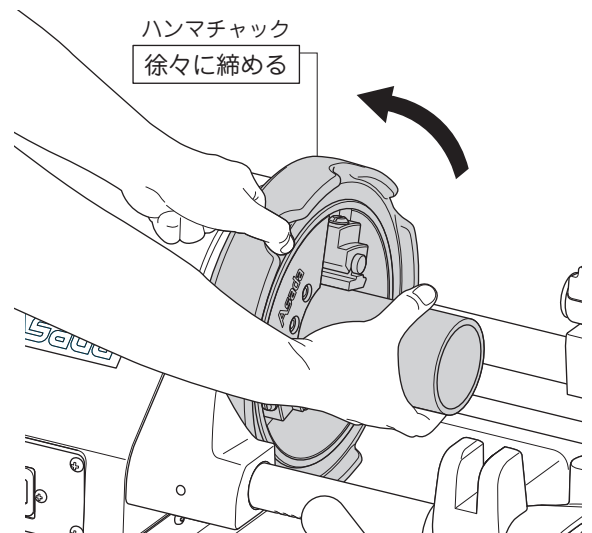


# BEAVER 50G

- ② スクロール側からパイプを挿入し、スクロールを締めてください。



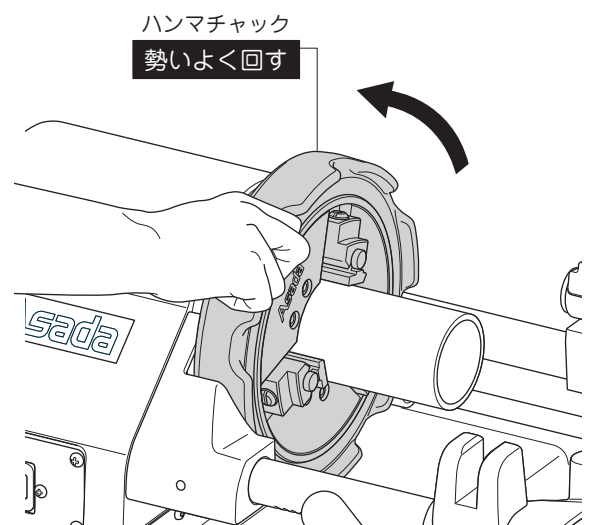
- ③ 右手でハンマチャック側のパイプを持ち、ハンマチャックで徐々に締め込んでください。



- ④ 3つのハンマチャック爪がパイプに当たっているか確認してください。

- ⑤ 3つのハンマチャック爪が正しく当たっていないと、パイプが振れて切断や、ねじ切りが正しくできません。

- ⑥ ハンマチャックを勢いよく回し、パイプをしっかり締め付けてください。  
※手前方向に外輪を叩きつけるように2, 3度回すのがコツです。



# ビーバー 50G

## パイプの切断

パイプの切断はパイプカッタか丸のこで行います。

### ⚠ 警告

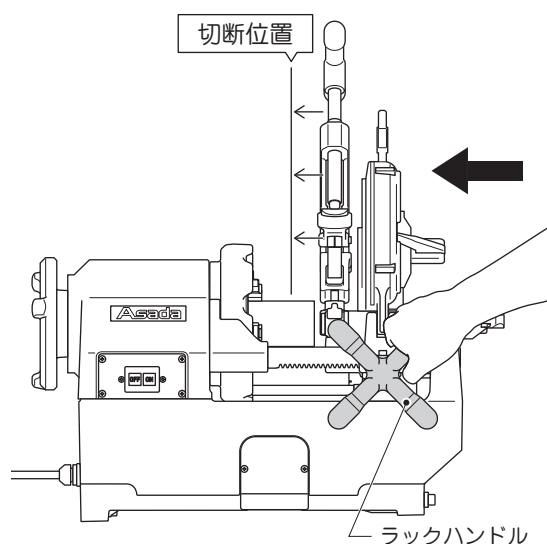
◆切断面は鋭利で高温になっています。直接手で触らないでください。

### ⚠ 注意

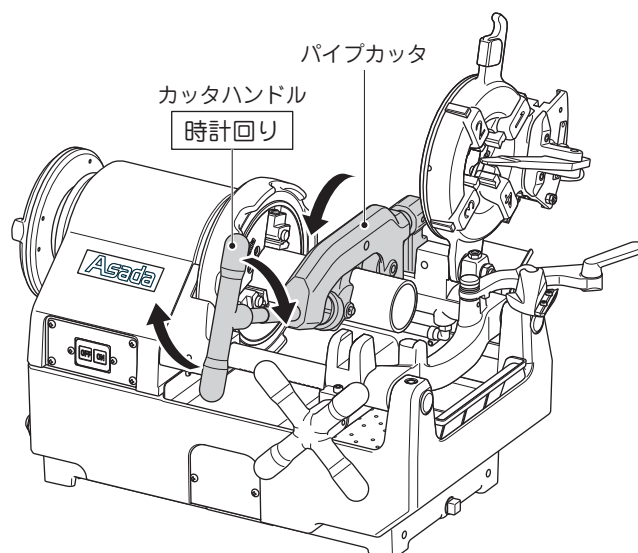
◆カッタハンドルを無理に回すと、材料の切断面が楕円になり、正しいねじが切れません。  
材料1回転に対し、カッタハンドルを半回転させてください。

## パイプカッタで切断

- ① パイプカッタを上を起こし、ラックハンドルを回してパイプの切断したい位置にパイプカッタを移動します。



- ② パイプカッタを引き下ろした後、スイッチをONにします。
- ③ カッタハンドルを時計方向に力を入れて回し、パイプを切断します。  
材料1回転に対して、カッタハンドルを半回転させます。



- ④ パイプカッタを上を起こし、戻します。



## 丸のこで切断

取り付け・取り扱いについては、丸のこ取扱説明書を参照してください。

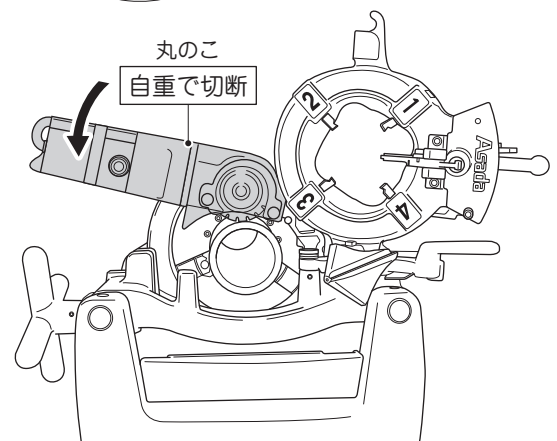
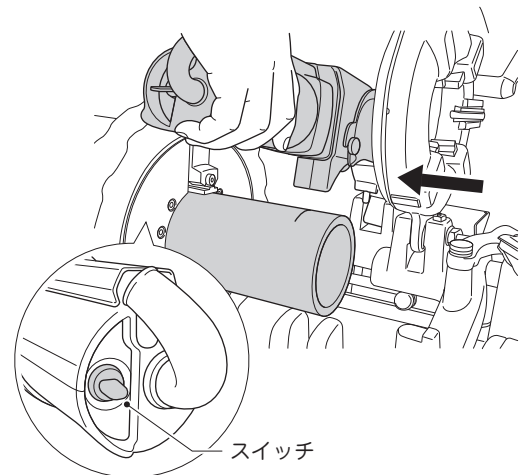
### ⚠ 警告

- ◆ 電源電圧は 100V で使用してください。  
正しい電圧で使用しないと発熱、発煙、発火の原因となります。
- ◆ 丸のこは、スイッチを OFF にしても惰性で刃が回転します。  
動いている刃物や回転部に触れないでください。
- ◆ 刃を回転させたまま、放置しないでください。
- ◆ 切断直後の丸のこの刃や切粉は鋭利で高温です。素手で触れないでください。

### ⚠ 注意

- ◆ 必ず手袋をして、取り付けや刃物の交換をしてください。
- ◆ 本機のスイッチを OFF にして電源プラグを電源コンセントから抜き、丸のこのスイッチを OFF にしたうえで、丸のこを本機に取り付けます。
- ◆ 刃が露出しているとケガをします、必ずアクリルカバーを付けてご使用ください。
- ◆ 丸のこをパイプに押し付けしないでください。  
刃が欠けます。

- ① 丸のこを上を起こし、  
ラックハンドルを回しパイプの切断位置に丸のこの刃を移動します。
- ② 本機のスイッチを ON にした後、  
丸のこのスイッチを ON にします。
- ③ 丸のこを下に降ろし、  
パイプの上にゆっくりと置いてください。
- ④ パイプを切り終わったら丸のこのスイッチを OFF にし、  
ゆっくり上に起こします。



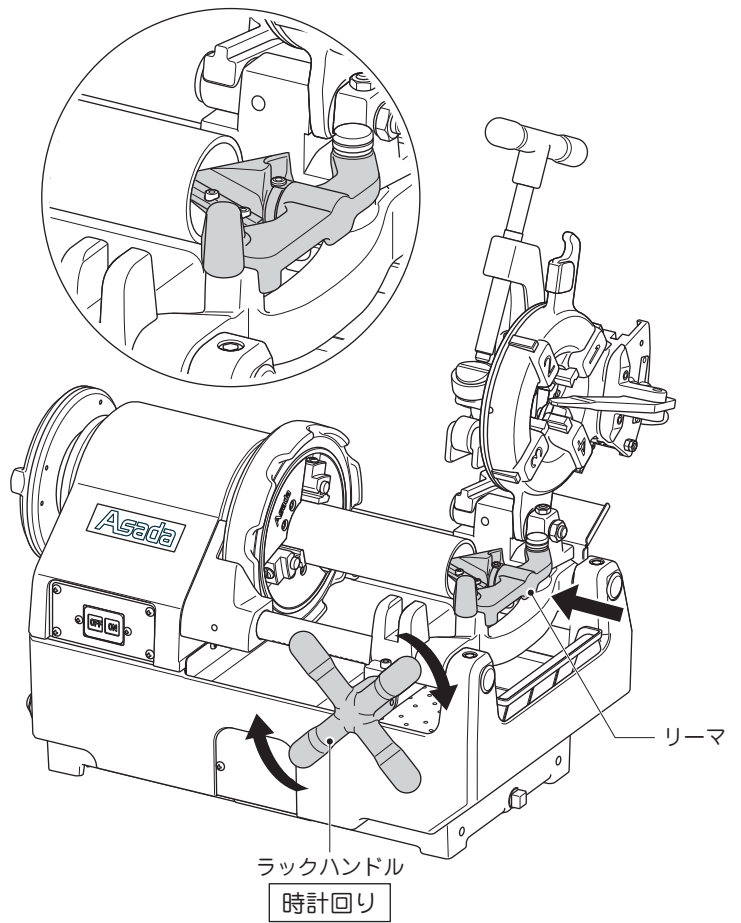
# ビーバー 50G

## 面取り

### ⚠ 注意

◆ リーマの刃先は鋭利ですから、素手で触らないでください。

- ① パイプカッタ、丸のこで切断したパイプは、パイプ内面を面取りします。
- ② リーマを手前に引きセットします。
- ③ ラックハンドルを時計方向に回し、回転しているパイプの端面にリーマ刃を近づけます。
- ④ さらにラックハンドルを回し、リーマ刃を軽く押し当てて内面を削ります。



# BEAVER 50G

## チェーザの選定

ねじサイズに合ったチェーザを使用してください。

ねじサイズ		使用するチェーザ	
		コードNo.	品名
鋼管用	PT1/2"またはPT3/4"	No.89211	AT1/2"~3/4"
	PT1"、PT1.1/4"、PT1.1/2"、PT2"のいずれか	No.89227	AT1"~2"
SUS管用	PT1/2"またはPT3/4"	No.89203	AT1/2"~3/4" SUS管用
	PT1"、PT1.1/4"、PT1.1/2"、PT2"のいずれか	No.89248	AT1"~2" SUS管用

# ビーパー 50G

## チェーザをダイヘッドから取り外す、ダイヘッドに取り付ける

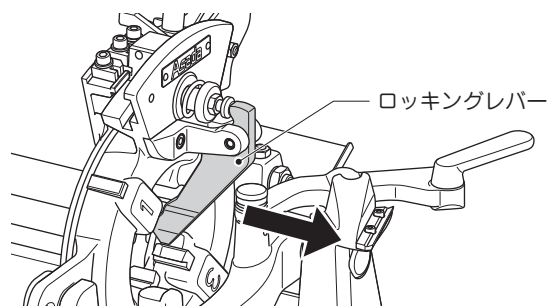
### ■自動ダイヘッドの場合

#### 取り外し

#### ⚠ 注意

- ◆チェーザの刃で手を切らないように、手袋をはめて作業をしてください。
- ◆チェーザ周辺の切粉をブラシ等で除去してください。  
切粉等が詰まるとチェーザが抜けなくなる場合があります。

- ① ロッキングレバーを矢印の方向に引き、開放状態にしてください。
- ② 位置決めプレート（銀）を位置決めブロックに入れます。
- ③ ダイヘッドが下りている場合は、上からチェーザ番号1、4を抜きます。
- ④ ダイヘッドを持ち上げて起こし、チェーザ番号2、3を下へ抜きます。

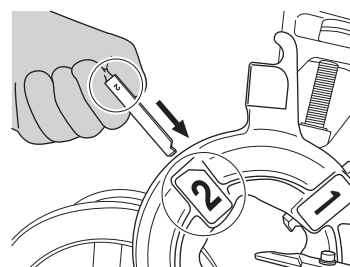
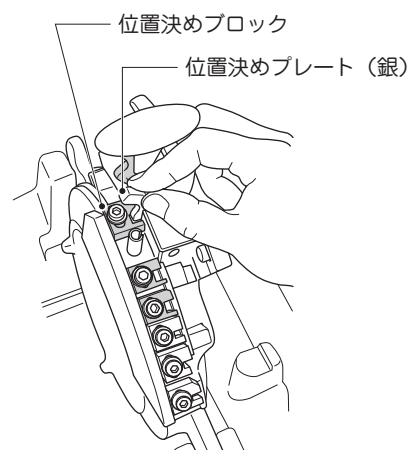


#### 取り付け

#### ⚠ 注意

- ◆ダイヘッドとチェーザの番号が合っていないと、正しいねじが切れません。
- ◆チェーザは4枚セットになっていますので、他のチェーザと混ぜないでください。
- ◆チェーザ及びダイヘッドのチェーザ溝の切粉等を除去してください。  
チェーザが入らなかったり、動作不良の原因となります。

- ① ロッキングレバーを矢印の方向に引き、開放状態にしてください。
- ② 位置決めプレート（銀）を位置決めブロックに入れます。
- ③ 各ダイヘッドの番号と同じ番号のチェーザをカチッと音がするまで挿入します。
- ④ このときダイヘッドとチェーザの番号が同一面にくるようにします。



## ■ 手動ダイヘッドの場合

### 取り外し

#### ⚠ 注意

- ◆ チェーザの刃で手を切らないように、手袋をはめて作業をしてください。
- ◆ チェーザ周辺の切粉をブラシ等で除去してください。  
切粉等が詰まるとチェーザが抜けなくなる場合があります。

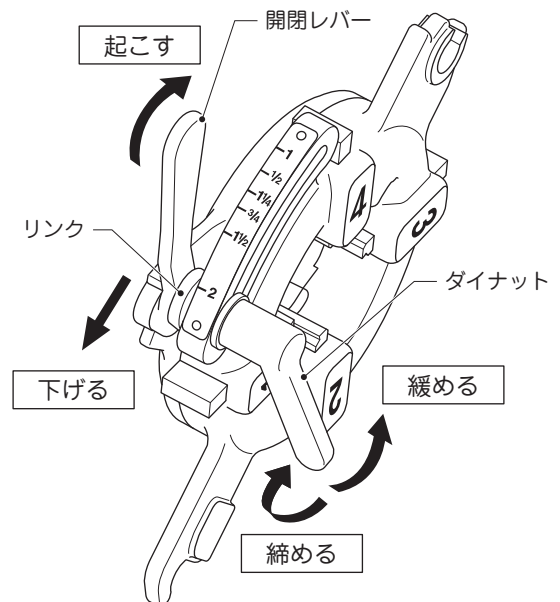
- ① ダイナットをゆるめ、リンクを下方いっぱいまで下げ、ダイナットを締付けて開閉レバーを上を起こします。
- ② その状態でチェーザは全部容易に取り出せます。  
ダイヘッドが下りている場合は、上からチェーザ番号 1、4 を抜きます。
- ③ ダイヘッドを持ち上げて起こし、チェーザ番号 2、3 を下へ抜きます。

### 取り付け

#### ⚠ 注意

- ◆ ダイヘッドとチェーザの番号が合っていないと、正しいねじが切れません。
- ◆ チェーザは 4 枚セットになっていますので、他のチェーザと混ぜないでください。
- ◆ チェーザ及びダイヘッドのチェーザ溝の切粉等を除去してください。  
チェーザが入らなかったり、動作不良の原因となります。

- ① ダイナットをゆるめ、リンクを下方いっぱいまで下げ、ダイナットを締付けて開閉レバーを上を起こします。
- ② 各ダイヘッドの番号と同じ番号のチェーザをカチッと音がするまで挿入します。
- ③ このときダイヘッドとチェーザの番号が同一面にくるようにします。



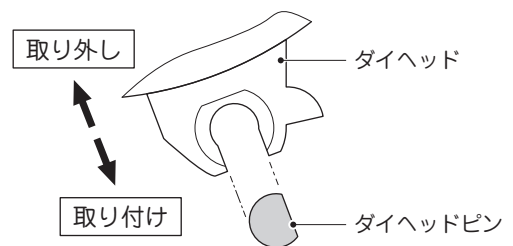
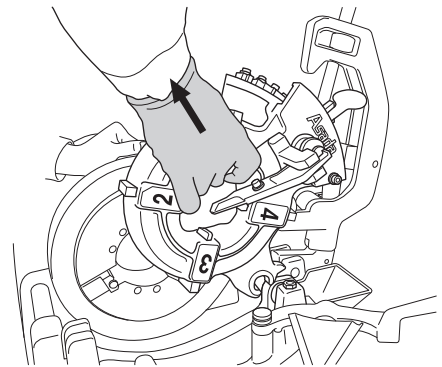
# ビーバー 50G

## チェーザをダイヘッドごと交換する

### ▲ 注意

◆ ダイヘッドを取り外した状態で本機のスイッチを入れますと、ダイヘッドピンの吐出穴からねじ切りオイルが勢いよく吹き出します。ねじ切りオイルで汚れますので、スイッチは入れないようにしてください。

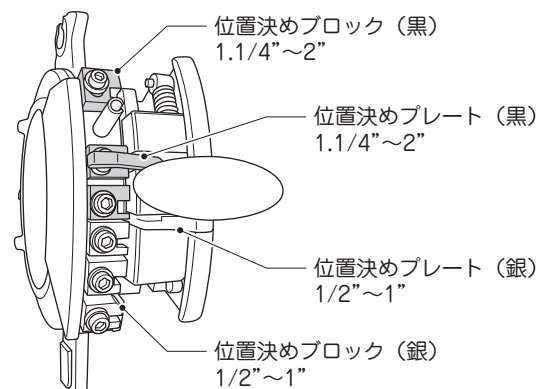
- ① ダイヘッドピンの平らな面の方向のみダイヘッドの取り外し、取り付けができるようになっています。
- ② ダイヘッドを途中まで持ち上げ、ダイヘッドの溝とダイヘッドピンの平らな面を合わせます。
- ③ そのまま斜め手前に引き上げて、ダイヘッドを取り外します。



## ねじサイズの変更

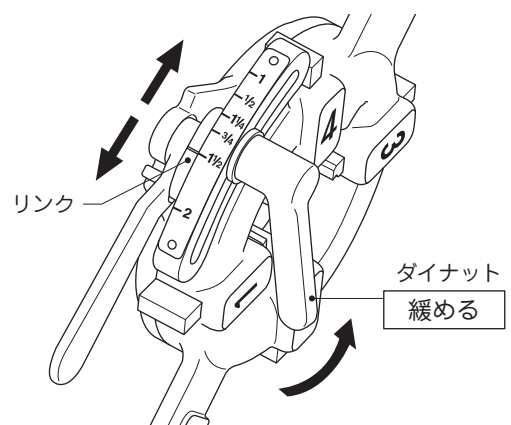
### ■ 自動ダイヘッドの場合

- ① ダイヘッドおよびチェーザがねじサイズに適応していることを確認してください。
  - ② 位置決めプレートをねじ切りサイズの位置決めブロックに入れます。
  - ③ サイズはそれぞれの位置決めブロックに表示されています。
- ※ 1/2" ~ 1" は銀色、  
1.1/4" ~ 2" は黒色の位置決めプレートとブロックで行ってください。



### ■ 手動ダイヘッドの場合

- ① ダイナットを緩めるとリンクが上下しますので必要なサイズの目盛プレートにリンク刻印を合致してください。





# BEAVER 50G

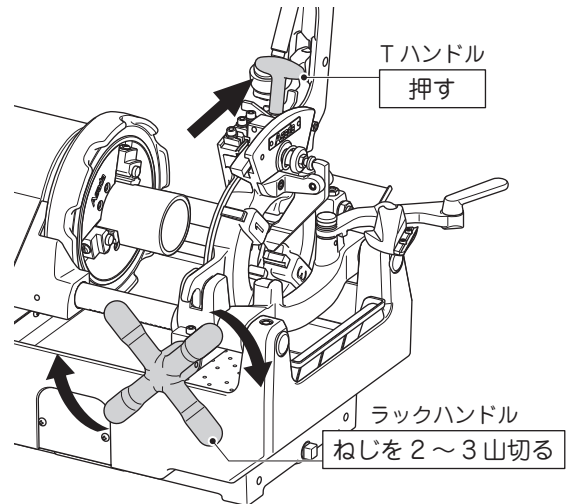
## ねじ切削

### ⚠ 注意

◆ダイヘッドを下へ降ろすときに指をはさまないように、手の位置に注意してください。

#### ■ 自動ダイヘッドの場合

- ① ダイヘッドを下へ降ろして、Tハンドルを矢印の方向へ押してセットします。
- ② スイッチをONにし、ラックハンドルを時計方向に回しダイヘッドをパイプに近づけます。
- ③ チェーザが喰い付いてねじが2～3山切れるまで軽くラックハンドルを送り込んでください。
- ④ 自動でダイヘッドが開放してねじが切れます。ねじが切り終わったらスイッチをOFFにします。



#### ■ 手動ダイヘッドの場合

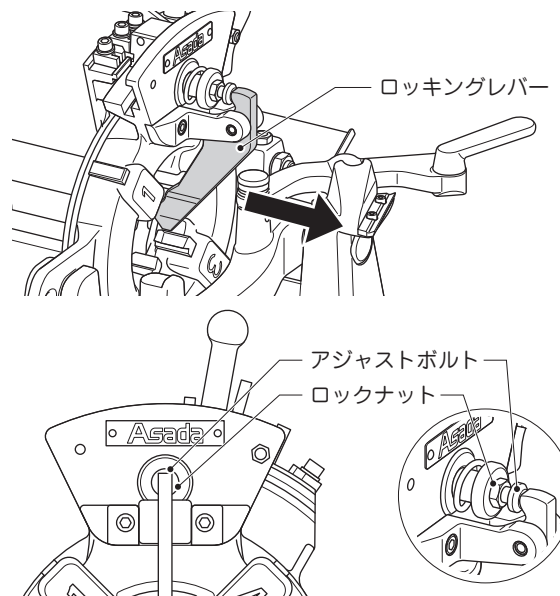
- ① ダイヘッドを下へ降ろして、開閉レバーを手前に倒します。
  - ② スイッチをONにし、ラックハンドルを時計方向に回しダイヘッドをパイプに近づけます。
  - ③ ダイヘッドが喰い付いてねじが2～3山切れるまで軽くラックハンドルを送り込んでください。
  - ④ 必要なねじ山が切れましたら、開閉レバーを徐々に反対側へ起こしチェーザを開きながら切りあげます。
- ※ 急激にチェーザを開くとねじの切りあがりに段がつき、ねじの仕上がりが悪くなります。

## ねじ長さの調整

出荷時は規格内のねじ長さに調整してありますが、必要に応じて次のように調整します。

#### ■ 自動ダイヘッドの場合

- ① ロッキングレバーを矢印の方向に引いて開放状態にしてください。
- ② ロックナットをゆるめ、アジャストボルトを回してねじ長さを調整します。  
右へ回すとねじ長さが長くなり、  
左へ回すと短くなります。  
1回転でねじ長さが約2.5mm変化します。
- ③ 調整が終わったら、ロックナットを締めて固定してください。

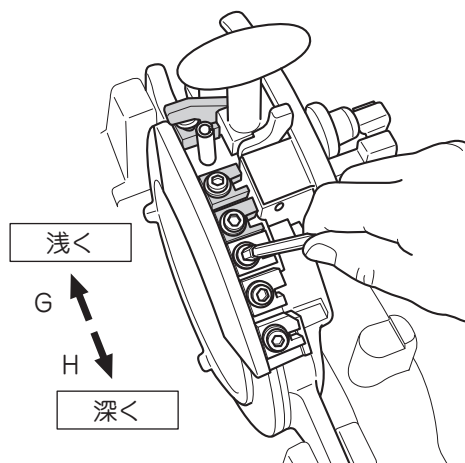


# ビーバー 50G

## ねじ深さの調整

### ■ 自動ダイヘッドの場合

- ① カム板に位置決めブロックを止めている六角穴付ボルトをゆるめてください。
- ② 位置決めブロックを移動させ、ねじ深さを調整します。  
H方向へスライドすると深くなり、  
G方向へスライドすると浅くなります。  
ねじ深さは1目盛につき1.5～2山変化します。
- ③ 六角穴付ボルトを締めて位置決めブロックを固定し、ねじを切削します。
- ④ 切られたねじをパイプねじゲージ等で調べ、必要なら再調整をしてください。



## 材料の取り外し

### ⚠ 警告

- ◆ パイプはねじ切りオイルで濡れて滑りやすくなっています。  
足元に落とさないよう注意してください。
- ◆ ねじ切り直後のねじ面は非常に熱くなっています。  
やけどをしないように注意してください。
- ◆ ねじ山は鋭利になっていますので、手を切らないように注意してください。

- ① ラックハンドルを反時計方向に回し、サドルを戻します。
- ② ハンマチャックおよびスクロールをゆるめて、パイプを抜き出します。

## 使用後の清掃

### ⚠ 警告

- ◆ 切粉をエアーで吹き飛ばさないでください。  
目に入り失明することがあります。
- ◆ 切粉は鋭利ですから、素手で触らないでください。  
必ず手袋をはめてください。

- 本機上や周りに散乱している切粉を取り除きます。
- 切粉がついているハンマチャック、ダイヘッドのチェーザ、リーマをワイヤブラシで掃除してください。
- 本機や周りに飛散したねじ切りオイルをウエスで拭き取ってください。

## 車などへの積み込み

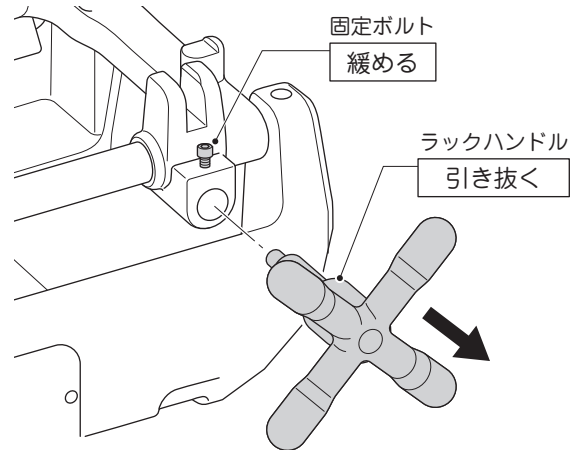
ラックハンドル、リーマ、油受けを取り外すことができます。

ラックハンドル、リーマ、油受けを取り外すことでコンパクトになるため、収納や保管しやすくなります。

### ラックハンドルの取り外し

- ① 六角棒スパナ 5 を使用し、ラックハンドルを固定している固定ボルト (No.BG538) を緩めます。
- ② ラックハンドルを引き抜きます。

※取り外しましたラックハンドルのギヤ面に、傷をつけないように注意してください。



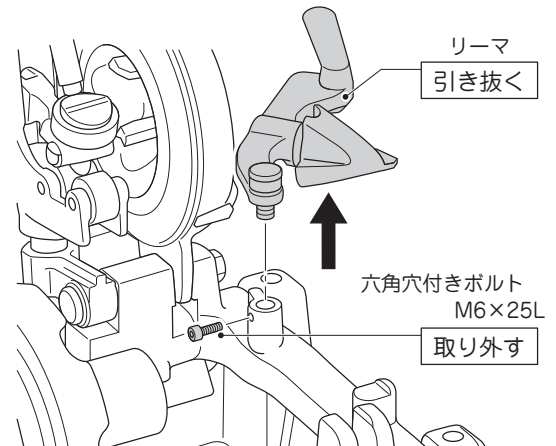
### リーマの取り外し

- ① 六角棒スパナ 5 を使用し、リーマを固定している六角穴付きボルト M6 × 25L (No.80167) を取り外します。
- ② リーマを上方向へ引き抜きます。

※取り外しましたボルトは、なくさないように取り付いていた穴に仮締めをしておいてください。

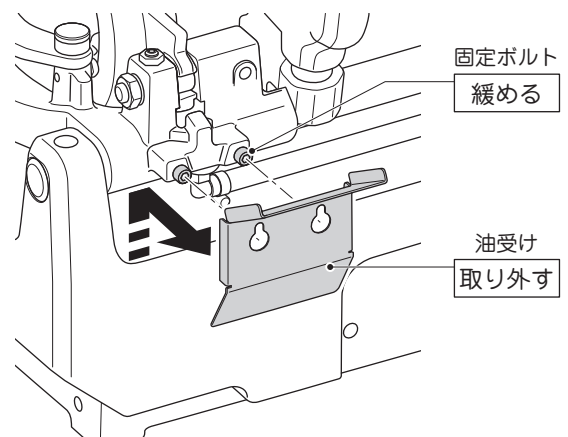
※取り外しましたリーマの刃は、傷や刃欠けがないように注意してください。

また、リーマの刃は鋭利ですので、手を切らないように注意してください。



### 油受けの取り外し

- ① 油受け (No.BG537) を固定している固定ボルト (No.BG538) を緩めます。
- ② 油受けを一度上に引き上げた後、手前に引いて外します。



# ビーバー 50G

## 保守・点検

### 清掃

#### オイルタンク・フィルタの清掃

#### ⚠ 注意

◆ オイルタンク内には細かい切粉がたまりやすくなります。定期的に清掃して、ねじ切りオイルを新しいものに交換してください。

- ① タンク下部についているドレンプラグを取り外し、汚れたねじ切りオイルを排出します。  
※ドレンプラグが外れるとともに、ねじ切りオイルが勢いよく飛び出しますので注意してください。
- ② 切粉受皿を取り外し、その下にあるストレーナ、タンク蓋を外します。
- ③ タンク内にたまった切粉やゴミ等をきれいに取り除きます。  
※ストレーナ、フィルタも清掃してください。  
ストレーナ、フィルタが詰まっていますと、ねじ切りオイルの吐出量不足となります。
- ④ ドレンプラグについているゴミ等をふき取り、タンクに工具でしっかりと締めこんでください。  
※ドレンプラグの締め込みが緩いとねじ切りオイルが漏れ、作業現場が汚れ滑りやすくなり危険です。
- ⑤ タンク蓋、ストレーナを取り付け、ねじ切りオイルをストレーナの金網が浸かるまで入れてください。  
※ねじ切りオイルは、アサダ純正ねじ切りオイルをご使用ください。オイルタンク容量は約2.4Lです。
- ⑥ 切粉受皿を取り付けてねじ切り作業を行ってください。

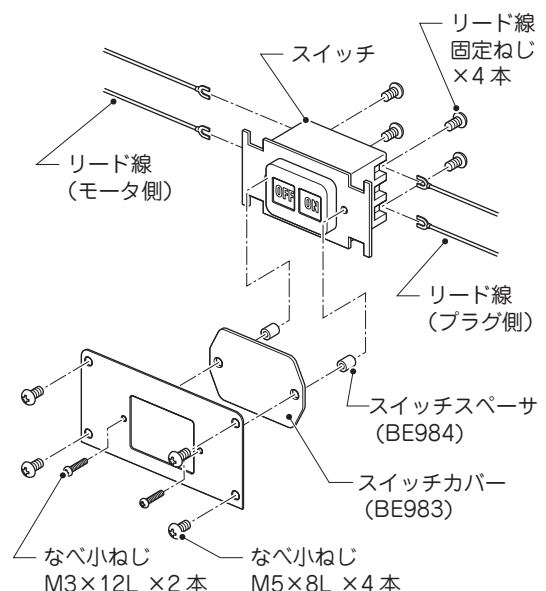
### 各部の交換

#### スイッチの交換

#### ⚠ 警告

◆ 感電する可能性がありますので、必ず作業前に電源プラグを抜いてください。

- ① なべ小ねじ M5 × 8L (No.82180) を外し、スイッチプレートを手前に引き出します。
- ② なべ小ねじ M3 × 12L (No.82366) を外し、スイッチプレートからスイッチを外します。
- ③ リード線固定ねじを緩め、リード線を外します。  
新品のスイッチ BEH2302 (No.87187) にリード線を固定します。
- ④ リード線を取り付けたスイッチをスイッチプレートに取り付け本機に固定します。

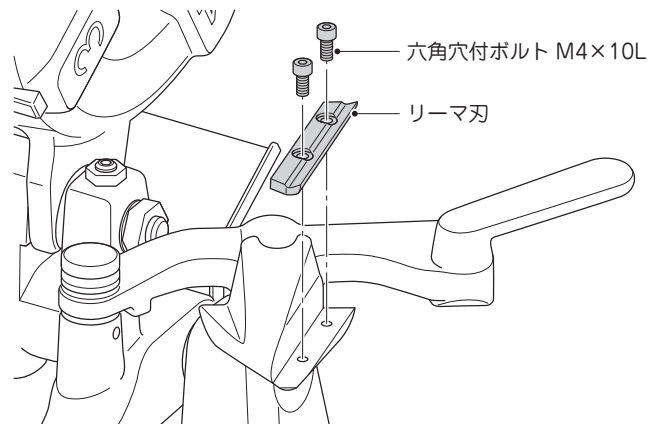


## リーマ刃の交換

### ⚠ 注意

◆ リーマ刃で指を切らないように、手袋をはめて作業してください。

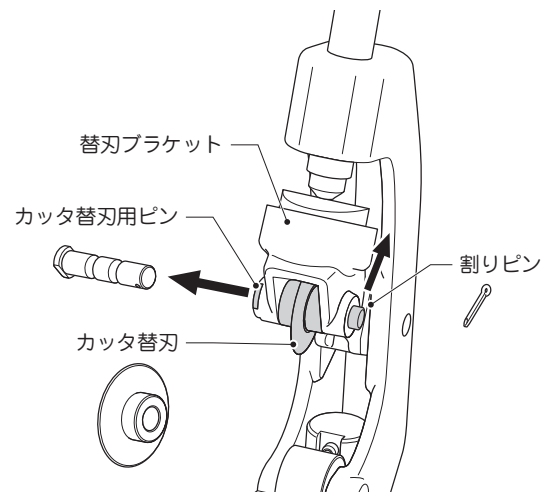
- ① パイプカッタとダイヘッドを上を起こし、リーマを開きます。
- ② リーマ刃 (No.BG558) を固定している六角穴付ボルト M4 × 10L (No.80152) を外し、リーマ刃を外します。
- ④ 新しいリーマ刃 (No.BG558) を取り付けます。
- ⑤ 六角穴付ボルト M4 × 10L (No.80152) でリーマ刃を固定します。



## カッタ替刃の交換

- ① パイプカッタを上を起こし、ダイヘッドは下に降ろします。
- ② 割りピンφ 2 × 15L (No.83375) をまっすぐにして、上に引き抜きます。
- ③ カッタ替刃を持ちながらカッタ替刃用ピン (No.21511) を指で少し押し出し、反対側から引き抜きます。
- ④ カッタ替刃用ピンに付いている切粉、ごみ、オイル等を拭き取り、溝にグリスを塗ります。
- ⑤ 新品のカッタ替刃 (No.04510) を替刃ブラケットに入れ、カッタ替刃用ピンを差し込みます。
- ⑥ 新品の割りピンφ 2 × 15L (No.83375) をカッタ替刃用ピンに差し込み、先を曲げて広げます。

※ SUS 管には、パイプカッタ替刃 SUS 管用 (No.70076) を使用してください



# ビーパー 50G

## ギヤポンプの交換

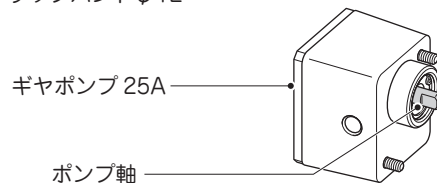
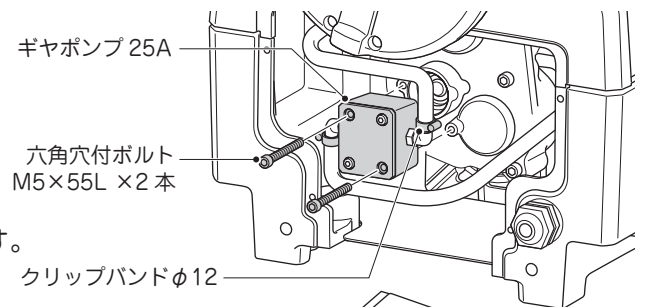
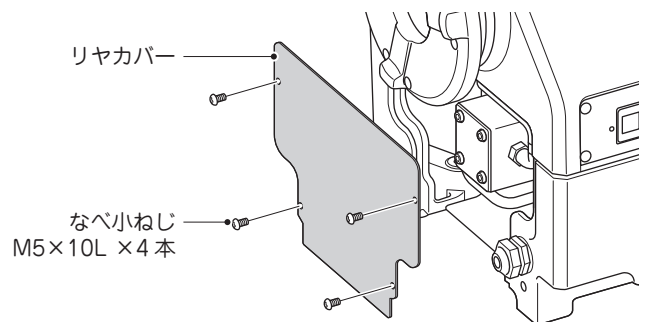
### ⚠ 注意

- ◆ ギヤポンプ 25A やチューブ内に残っているねじ切りオイルがあふれ、床を汚します。ギヤポンプ回りにオイルの受け皿やウエスを敷いてください。
- ◆ リヤカバー組付け時、コードを挟み込まないで下さい。コードを破損させ、漏電の原因になります。

- ① オイルタンク内のねじ切りオイルを抜くために、オイルパンで受けて、ドレンプラグを外しねじ切りオイルを抜きます。
- ② なべ小ねじ M5 × 10L (No.82181) を外し、リヤカバーを外します。
- ③ 六角穴付ボルト M5 × 55L (No.80237) を外し、ギヤポンプ 25A (No.BE45L) を本機から取り外します。
- ④ 2 個のクリップバンドφ 12 (No.85608) をゆるめホースをギヤポンプ 25A から外しますが、オイルがあふれるので注意してください。
- ⑤ 2 本のホースに新品のギヤポンプ 25A (No.BE45L) を取り付け、クリップバンドφ 12 をしっかり締めます。
- ⑥ ポンプ軸を回して本機側の溝に合わせ奥まで入れ外したボルト 2 本でギヤポンプ 25A を固定します。
- ⑦ ねじ切りオイルを入れ、ダイヘッドを下に降ろします。オイルタンク容量は約 2.4L です。

※ダイヘッドを取り外した状態で本機のスイッチを入れますと、ダイヘッドピンの吐出穴からねじ切りオイルが勢いよく吹き出します。

- ⑧ スイッチを ON にしてしばらく運転させた状態でダイヘッドからねじ切りオイルが安定して出ることを確認してください。





## ハンマチャック小爪の交換



警告

◆電源プラグを抜いてください。

- ① サドルが右端にくるように、ラックハンドルを反時計方向に回してください。
- ② パイプカッタを上を起こしてください。
- ③ ハンマチャックを回し、ドライバーが入る程度開いてください。

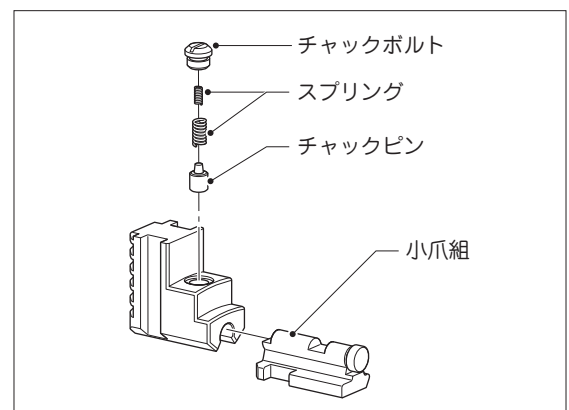
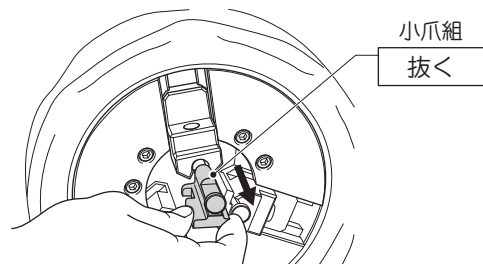
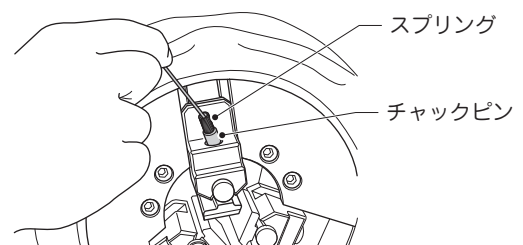
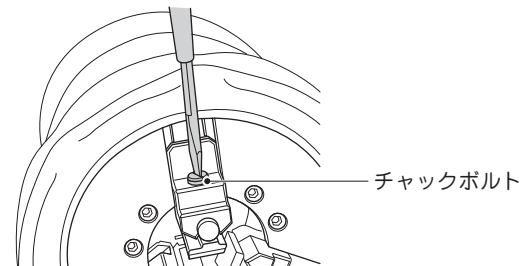
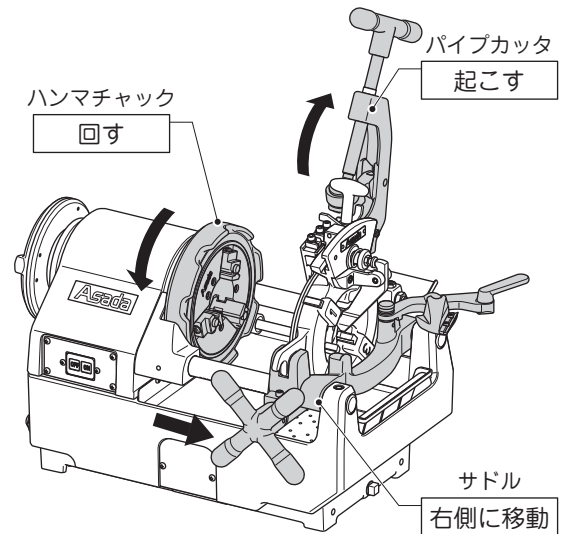
※ハンマチャックをマイナスドライバーでチャックボルトを回せる位置まで回転させてください。

- ④ 小爪組 (No.BE826) を止めているチャックボルト (No.BE508) をはずします。

- ⑤ チャックボルトを外した穴に入っているスプリング (大 (No.BE506)、小 (No.BE507) 各 1 ケ) 及びチャックピン (No.BE509) を細い棒 (六角棒スパナ等) やピンセット等でスプリングの先端を引っかけて引き抜きます。

- ⑥ 小爪組を手前側に引き抜きます。小爪組は必ず 3 個同時に交換しますので、他の 2 個も取り外します。
- ⑦ 小爪組取り付け面の切粉、ごみ、オイル等を拭き取ります。
- ⑧ 新品の小爪組を奥まで差し込み、スプリング (2 ケ) 及びピンを入れ、チャックボルトをしっかり締めてください。
- ⑨ 他の 2 個も同じように取り付けてください。

※正しいねじが切れませんので、必ず 3 個セットで交換をしてください。



# ビーパー 50G

## カーボンブラシの交換

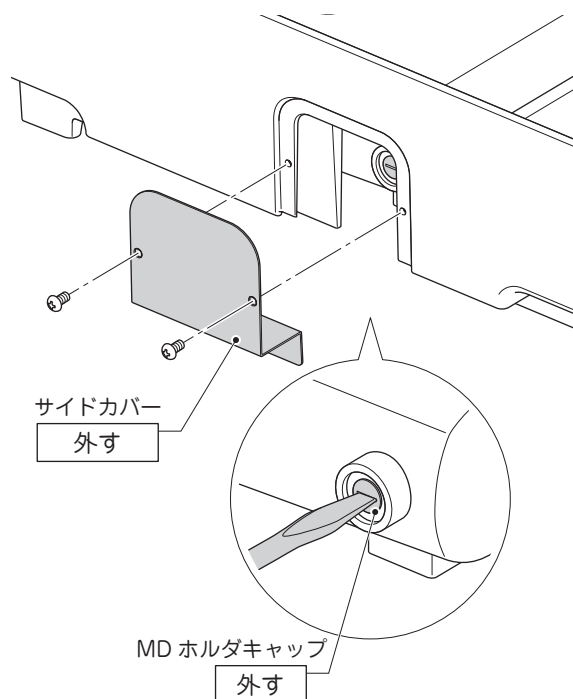
### ⚠ 警告

- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜いてください。  
感電します。

### ⚠ 注意

- ◆ 新品のカーボンブラシにオイル、ごみ、切粉等を付けないでください。  
手袋等の汚れが付かないようにしてください。

- ① サイドカバーを外します。
- ② マイナスドライバーで MD ホルダキャップ (No.70708) を回して外し、カーボンブラシ (No.70851) を取り出します。  
  
※ゴミ等が付着していますと、カーボンブラシの摺動が悪くなりモーターが動かなくなることがあります。
- ③ 新品のカーボンブラシを差し込みます。  
  
※カーボンブラシの端子部分の突起と刷子ホルダの凹みの位置を合わせて入れてください。
- ④ カーボンブラシのばねで端子部が外れてしまわないように押さえたままホルダキャップをセットして、マイナスドライバーで締め込みます。
- ④ 反対側のカーボンブラシも同様に交換し  
サイドカバーを取り付けます。



## 各部の調整

### ねじ切りオイルの吐出量調整

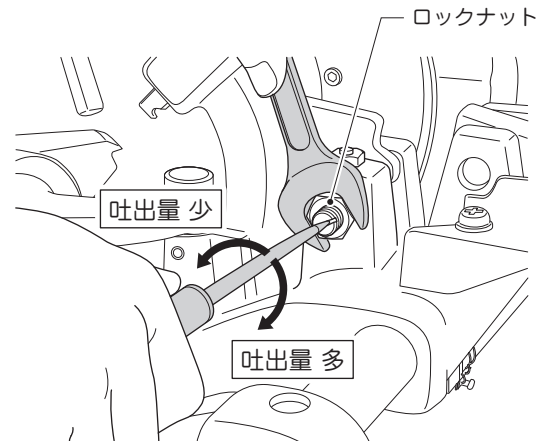
#### ⚠ 注意

◆ 吐出量の調整をする前にストレーナの詰まり等、ねじ切りオイルの循環不良がないことを確認してください。

- ① ストレーナの金網が浸かるまでねじ切りオイルが入っていることを確認します。
- ② ダイヘッドから出るねじ切りオイルが適量でない場合は油量調整ねじで調整します。  
切れ目なく出ている量が適量です。
- ③ 油量調整ねじのロックナットをゆるめます。
- ④ 油量調整ねじを時計方向に回すとねじ切りオイルの吐出量が増え、逆に回すと少なくなります。
- ⑤ 調整後ロックナットを締めます。

※油量調整ねじの奥には、調整スプリングと調整球が入っています。

油量調整ねじを緩めすぎて、外さないように注意してください。



# ビーバー 50G

## 修理・サービスを依頼される前に

- 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断に従って点検してください。  
それでも解決されない場合は、弊社営業所にご相談ください。
- 正しくご使用いただかない場合や本機の用途以外に使用して故障した場合は、保証の対象外となります。

現象	原因	対策
スイッチをONにしても起動しない	電源プラグが抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込む
	カーボンブラシが摩耗している	カーボンブラシを交換する P.27参照
	スイッチの故障	スイッチを交換する P.23参照
	モータの故障	修理を依頼する
	電源コードが損傷、断線している	電源コードを交換する
回転が遅い	電圧が低い	適正な延長コードを使用する たこ足配線はしない それでも解決しない場合は修理を依頼してください
	モータの故障	修理を依頼する
ねじ切りオイルが出ない、少ない	タンク内のねじ切りオイルが減っている	ねじ切りオイルを補充する P.11参照
	フィルタに切粉が詰まっている	タンク内、フィルタの切粉を掃除する P.23参照
	ギャポンプ25Aの故障	ギャポンプ25Aを交換する P.25参照
	ねじ切りオイルの吐出量が調整されていない	ねじ切りオイルの吐出量を調整する P.28参照
	ダイヘッドが正しく取り付けられていない	正しく取り付ける P.19参照
正しいねじが切れない	ねじ深さ、ねじ長さが調整されていない	ダイヘッドを調整する P.20, 21参照
	チェーザの摩耗、欠け	チェーザを交換する P.17,18参照
	ねじ切りオイルの劣化	新しいねじ切りオイルと入れ替える
	純正ねじ切りオイルを使用していない	純正ねじ切りオイルを使用する P.11参照
	チェーザが正しく取り付けられていない	正しく取り付ける P.17参照
各部の動きが悪い	切粉や鉄粉が付着している	切粉や鉄粉を取り除く
本機を長期間ご使用にならないときは、ねじ切りオイルを抜いて清掃し、さび止めをして保管してください		

# BEAVER 50G

---

## ●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。  
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :  
購入年月日: 年 月 日  
お買い求めの販売店

# Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪  
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜  
広島・福岡

海外事業所  
アサダ・タイランド社 (バンコク) アサダ・インド社 (ムンバイ)  
台湾浅田股份有限公司 (台北) 上海浅田進出口有限公司 (上海)  
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン) アサダ USA (オレゴン州・ユージン)

工 場  
犬山工場 (愛知県・犬山市)  
アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市 )  
アサダ・マシナリー社 (バンコク)

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イイシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土日・祝日は除く)